

令和2年6月24日

各位

大阪府中央区瓦町三丁目5番7号
株式会社アドバンスクリエイト
代表取締役社長 濱田 佳治
(コード番号: 8798 東証第一部)
(連絡先) 社長室長 林 寛一郎
電話 06-6204-1193

人とテクノロジーを深化させ進化する会社

**【保険市場コラム】「一聴一積」に原 晋さんによるコラム
「僕が考える理想の指導者像」の掲載を開始しました**

当社が運営する国内最大級の保険選びサイト「保険市場」(<https://www.hokende.com/>)において、保険市場コラム「一聴一積」内に、青山学院大学 地球社会共生学部 教授の原 晋(はら すすむ)さんによるコラムの掲載を開始いたしましたので、お知らせいたします。

記

■「保険市場」

<https://www.hokende.com/>

今後も、当社はWebマーケティングに主軸を置いた事業展開を進め、国内最大級の保険選びサイト「保険市場」において、ユーザビリティを向上させ、お客様の体験価値を高めていくと共に、刻々と変わる消費者動向を先取りし、5G時代の到来を睨んで最先端のテクノロジーとWebマーケティングノウハウを駆使し、あらゆる保険の情報メディアサイトとしての進化を追求してまいります。

【プロフィール】

■原 晋 (はら すすむ)

青山学院大学 地球社会共生学部 教授、陸上競技部 長距離ブロック 監督

1967年広島県生まれ。広島県立世羅高等学校を経て中京大学に進学し、全日本インカレ5,000mで3位入賞。卒業後は陸上競技部第1期生として中国電力(株)に進むも、故障に悩み競技生活から引退。1995年、同社で会社員として再スタートするが、2004年に長年低迷していた青山学院大学陸上競技部監督への就任話が舞い込む。契約3年目に箱根駅伝出場を逃し監督辞任のピンチを迎えたが、ビジネスで培ったプレゼン力で猶予を得て、2009年に33年ぶりの箱根駅伝出場。2020年の箱根駅伝では、大会新記録で5度目の総合優勝を果たし、再び頂点に返り咲く。主な著書に『フツ——の会社員だった僕が、青山学院大学を箱根駅伝優勝に導いた47の言葉』(アスコム刊)等。

本コラムの原 晋さんは、青山学院大学教授の傍ら陸上競技部長距離ブロックの監督もされています。2020年の箱根駅伝では大会新記録で青山学院大学を5度目の総合優勝へと導きました。陸上競技部を指導してきたご自身の経験を交えて「理想の指導者はどうあるべきか」についてお話ししていただきます。

「保険市場」は情報メディアサイトとして、保険に限らず多様なジャンルのコラムを掲載することで、お客さまにとってより幅広く有益な情報提供ができるものと考えております。

連載名：「僕が考える理想の指導者像」

URL：<https://www.hokende.com/news/blog/entry/harasusumu/001>



みなさん、こんにちは。原晋です。

最近、陸上部の監督という役割柄、若者を育てたり、強い組織をつくるための秘訣を聞かれたり、講演したりする機会が増えています。変化が激しく、先の読めない今の時代、一人ひとりのメンバーの可能性を広げることが、組織の存続につながります。そしてそのためのリーダーや指導者の役割は、ますます重要になってきています。

これからの時代のリーダーはどうあるべきか。若者の力を引き出し、強い組織をつくるにはどうすればいいのか。このコラムでは、青山学院大学陸上競技部を指導してきた経験から、僕なりに感じていることをお伝えします。

現代のリーダーの役目は、メンバーが自ら成長する仕組みづくり

以 上